さくら学園だより

庄内さくら学園中
学校だより
2023. 2. 9
No. 9

学校教育自己診断の結果より

12 月に実施させていただきました「学校教育自己診断」の結果が出ました。この紙面を借りて項目に分けて、報告させていただきます。なお、肯定的評価を（よくあてはまる、ややあてはまる）の数値で見ることとし、全学年の数値と学年ごとの数値をあげています。項目ごとの数値については【全学年の前年⇒今年】（1 年・2 年・3 年）と表示しています。

＜生徒アンケートから＞

１．学校生活全般について

「1.学校へ行くのが楽しい」【84⇒89】（89・89・88）
「2.自分の学級は楽しい」　【89⇒95】（95・94・96）
「11.学校行事は楽しく行えるよう工夫されている」　【85⇒91】（86・92・94）
「13.部活動は積極的に参加している」　【83⇒85】（83・83・90）

２．教職員との関係について

「3.先生は生徒の意見を聞いてくれる」　【90⇒93】（96・93・92）
「5.授業でわからないことについて先生に質問しやすい」　【78⇒80】（85・78・74）
「8.悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い」　【79⇒88】（97・85・83）
「9.先生はいじめなど私たちが困っていることについて真剣に対応してくれる」【83⇒93】（97・90・91）
「10.担任の先生以外にも保健室や相談室等で気軽に相談することができる先生がいる」【76⇒79】（80・77・79）

３．学習・授業内容等について

「7.通知表の成績は、わかりやすく伝えられている」　【84⇒92】（93・91・91）
「14.道徳や学校生活の中で、命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会が多い」【93⇒98】（97・97・99）
「15.人権について学ぶ機会が多い」　【88⇒91】（88・88・99）
「4.授業の中で『できた』『楽しい』と感じる場面がある」　【82⇒90】（90・91・88）

４．その他

「12.生徒会活動は活発である」　【83⇒87】（89・84・88）
「16.地震や火災が起こった場合、どう行動したらよいか知らされている」【85⇒89】（85・92・92）

前年と比べて、ほとんどの項目で肯定的評価が上がっています。「学校へ行くのが楽しみ」は５ポイント、「学級が楽しい」は６ポイント上昇しています。少しずつ学校行事が再開したことが要因と考えられます。また「先生はいじめなど私たちが困っていることについて真剣に対応してくれる」が１０ポイント、「相談に親身になって応じてくれる先生が多い」は９ポイント上昇するなど、生徒と教職員の関係づくりは昨年度より更にいい方向ですすんでいると思います。庄内さくら学園中学校が開校して、本校のスローガン「つながり」を意識した取り組みが成果として表れています。

＜保護者アンケートから＞

＊【〈　〉】の数値は、「わからない」と回答した保護者の人数を記載しています。

１．教育活動全般について

「1.保護者・地域の願いに答えている」【65⇒66〈30〉】(59・76・60)
「5.生徒指導の方針に共感できる」【68⇒69〈24〉】(61・73・73)
「8.先生は子どものまちがった行動を厳しく指導してくれる」【68⇒69〈25〉】(71・65・70)
「10.いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」【66⇒66〈33〉】(61・70・67)
「11.進路や職業などについて適切な指導や情報交換を行っている」【62⇒62〈30〉】(47・65・83)
「16.命を大切にする心や生活のルールを守る態度を育てようとしている」【76⇒76〈25〉】(80・74・73)
「17.子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている」【74⇒74〈24〉】(71・83・67)

２．保護者・教職員の関係及び家庭との連携について

「2.家庭への連絡や意思疎通を積極的にきめ細かく行っている」【84⇒84〈6〉】(86・84・80)
「7.子どものことについての相談に適切に応じてくれる」【77⇒77〈16〉】(78・76・77)
「9.先生は子どもを理解している」【74⇒74〈16〉】(82・70・70)
「18.先生は、子どもの人権を尊重する姿勢で指導にあたっている」【67⇒67〈29〉】(65・72・63)
「20.子どもの心身の健康について、気軽に先生に相談できる」【74⇒74〈19〉】(78・70・77)

３．子どもを通して感じることについて

「3.授業が楽しく分かりやすいと言っている」【63⇒64〈7〉】(69・60・62)
「6.学校に行くのを楽しみにしている」【78⇒78〈3〉】(81・76・77)
「12.学校に友だちが多いと言っている」【74⇒74〈7〉】(71・80・67)
「13.体育大会、宿泊行事など学校行事に積極的に参加している」【94⇒94〈1〉】(92・96・93)
「15.積極的に部活動に参加している」【84⇒84〈2〉】(88・76・90)

４．その他

「4.通知表は、学力や達成度をわかりやすく表すように工夫されている」【73⇒74〈8〉】(75・71・77)
「14.生徒会活動は活発である」【60⇒60〈41〉】(59・57・67)
「19.地震や台風などの行動マニュアルが知らされている」【76⇒76〈14〉】(80・72・77)

前年と比べて多くの項目では横ばいだが、いくつかの項目で肯定的評価が１～２ポイント上がっています。「13.体育大会、宿泊行事など学校行事に積極的に参加している」の項目が高い数値を出しているのは、保護者の皆様にご参加いただき、子どもたちの頑張る様子等を見ていただくことができたことが大きな要因であると思います。ただ、今年度も「わからない」の回答が多く、次年度のさくら学園でも、保護者の皆様に来校いただける機会を増やすとともに、様々な取り組み等の情報発信にも工夫して進めていくことが必要であると考えます。

◆ 類似項目における生徒と保護者の比較

【1】学校生活全般について

(生　徒)「1.学校へ行くのが楽しい」【84⇒89】(89・89・88)
(保護者)「6.学校に行くのを楽しみにしている」【78⇒78】(81・76・77)

(生　徒)「11.学校行事は楽しく行えるよう工夫さえている」【85⇒91】(86・92・94)
(保護者)「13.学校行事に積極的に参加している」【94⇒94】(92・96・93)

(生　徒)「13.部活動は積極的に参加している」【83⇒85】(83・83・90)
(保護者)「15.積極的に部活動に参加している」【84⇒84】(88・76・90)

【2】教職員との関係について

(生　徒)「9.先生はいじめなど困っていることについて真剣に対応してくれる」【83⇒93】(97・90・91)
(保護者)「10.いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」【66⇒66】(61・70・67)

(生　徒)「3.先生は生徒の意見を聞いてくれる」【90⇒93】(96・93・92)
(保護者)「9.先生は子どもを理解している」【74⇒74】(82・70・70)

(生　徒)「8.悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い」【79⇒88】(97・85・83)
(保護者)「7.子どものことについての相談に適切に応じてくれる」【77⇒77】(78・76・77)

(生　徒)「15.人権について学ぶ機会が多い」　【88⇒91】(88・88・99)
(保護者)「17.子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている」【74⇒74】(71・83・67)

(生　徒)「14.命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会が多い」【93⇒98】(97・97・99)
(保護者)「16.命を大切にする心やルールを守る態度を育てようとしている」【76⇒76】(80・74・73)

【3】授業・学習内容等について

(生　徒)「4.授業の中で『できた』『楽しい』と感じる場面がある」【82⇒90】(90・91・88)
(保護者)「3.授業が楽しく分かりやすいと言っている」【63⇒64】(69・60・62)

(生　徒)「7.通知表の成績は、わかりやすく伝えられている」【84⇒92】(93・91・91)
(保護者)「4.通知表は、学力や達成度をわかりやすく工夫されている」【73⇒74】(75・71・77)

【4】その他

(生　徒)「12.生徒会活動は活発である」【83⇒87】(89・84・88)
(保護者)「14.生徒会活動は活発である」【60⇒60】(59・57・67)

(生　徒)「16.地震等が起こった場合、どう行動したらよいか知らされている」【85⇒89】(85・92・92)
(保護者)「19.地震や台風などの行動マニュアルが知らされている」【76⇒76】(80・72・77)

＜まとめ＞

新しい庄内さくら学園中学校区（島田・庄内・野田小）になってから、3学年が揃った初めての年度であり、落ち着いた状況で行事や活動にも少しずつ取り組めるようになりました。生徒の多くの項目で「肯定的評価」が大きく上昇の傾向がみられたことは大変良かったと思います。特に、教職員との関係等の項目において、肯定的評価が大幅に伸びてきていることについては、学校スローガンに掲げ、生徒会活動のキーワードである「つながり」を大事にした取り組みを進めていることの成果に表れていると思います。

ただ、保護者のアンケートで「わからない」と回答している層が多く、コロナ禍でなかなか学校に足を運んでいただく機会が今年も少なかったことが要因だと思われます。併せて、保護者に様々な取り組みの様子などをお伝えする手段も今後検討する必要があることを改めて感じています。

そして学校スローガン達成に向けてのご意見では、「まずは、大人である親、教師が手本になるような姿勢で取り組んでいけたらいい」「上下のつながりに欠けているので、3学年で共に活動できるクラブ活動や生徒会、委員会以外で何かないかと思う。ボランティアやSDGｓ活動など」「もっともっと生徒が主体で決めたり動いたりすることがあっても良いと思います」「一緒に感じあえる体験で 人との繋がりや温かさなどを感じ成長してほしい」「ボランティア活動、仕事の体験や広く仕事の種類を知り将来の目標を広い視野から選択出来る環境作りが有れば良い」「教職員に子どもの思いにもっと寄り添ってほしい。子どもたちの思いに出来ないと言うので片付けるのではなく、どうしたら少しでもその思いや願いに近づける事が出来るのかを考えてもらいたい」「生徒の様子をもう少し見ていただきたい。何かあれば、すぐに相談できる場所が行きやすい形であれば良いと思う」等の声をいただきました。残り少ない本校での活動にはなりますが、一人ひとりの声をしっかり聞き取り寄り添う指導をこれまで以上に心がけていきたいと思います。

アンケートの結果・いただいたご意見につきましては、次年度開校の庄内さくら学園のよりよい学校づくりの参考にもさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。